

るのか。

答 ①認定区分に変更はありませんが、要支援者のデ

イサービスと訪問ヘルパーは介護予防サービスから除かれるため、在宅サービスに大きな影響が生じないよう町事業への移行を検討しています。

また、利用料金の協議等や、サービス提供の準備期間が必要であることから、国が認めている経過措置を活用し、町事業への移行の実施時期を平成29年4月まで延期することなどを検討しています。

③町には介護予防事業を実施できるNPOは1つしかありませんが、介護予防体操教室や高齢者の通いの場づくりを試みている団体や地区があります。こうした活動を確に把握し、育成指導・支援していくとともに、広域的な利用の可能性も検討する必要がありますと考えています。

④第6期介護保険事業計画の審議の中で介護サービスの内容やその提供量等を検討していくことにしており、それを踏まえて保険料の必要額が決められることになりす。

②山形「グリーン」の総括について

問 山形DCが終了し、県や各市町村では活動成果が検証されている。DCの総括から次の取組方を検討し、観光スタイルの確立に挑戦しているところも見受けられるが、当町の考え方を伺いたい。

①町が掲げた「元祖芋煮会in中山」をはじめとする7事業の実施結果と、これを踏まえた今後の継続活動等をどう考えているのか。

②町産業に経済的な効果をもたらす新商品の開発について、山形DC後の検討結果を伺いたい。

答 ①効果の見られた「芋煮会」発祥の地で体験。これが本場山形の芋煮会「出羽の国の大庄屋柏倉九左工門家で芋煮とつや姫弁当ランチ」「山形名物冷やしチャンプルー体験と理容師さんの地元トーク」「全国かぶと虫相撲大会」「元祖芋煮会in中山」の5事業は、それぞれの事業主体において内容をさらに磨き上げ、継続して実施していただき、他の2事業は廃止と

考えています。

すると、この後向きの考え方を改め、どうしても現在ある施設を町民が最大限利用できるかを考えてはどうか。

答 体育施設をはじめとするどのような公共施設も、使用する目的に合わせて施設を整備しています。そのため、本来の目的以外の使い方をすると、施設や設備の破損につながり、事故の原因にもなりますので、一定の制限を設け適正な使用をお願いします。

今後とも、社会体育施設の適正な維持管理と利用向上に努めますので、ご理解をお願いします。



西塔 重雄 議員

農業と地域経済を守るため町が進めていくことは

問 平成26年産米の価格下落や米の直接支払いは、大規模な農家ほど影響は大きく、経済的にも肉体的にも大変になっており、深刻な状況にある。

この状態が続けば、離農や耕作

放棄地の増大、さらには多面的機能の維持や自然破壊にもつながることが危惧されている。

農業を守ることは、農家だけの問題ではなく、関連する事業者の方々の心配を少なくするものがある。

急激に変わる農政に、町の基幹産業である農業を守り、地域経済を守るため、今後町としてどのように農業を位置づけする考えなのか伺いたい。

答 町の農業を取り巻く情勢は、農産物の価格低迷、農業従事者の高齢化、遊休農地の増加など、厳しい状況にあります。

このような状況の中、当町の農業の維持発展を図るためには、優良農地の保全と新規就農者や担い手の育成支援などが重要です。町としては、農業は町の基幹産業であり、食料供給の産業であるという認識は継承すべきと考えますので、今後とも国・県の動きを注視しながら、第5次中山町総合計画により農業農村の有する多面的機能の維持と、地域特性を活かした農業の振興を図ってまいりたいと考えています。

②せせらぎ公園内へのクッキングスペース設置や流し台の設置期間延長により、同公園内での芋煮会利用が増えている状況にあることから、各事業者において今後このような利用者のニーズに応えられるような商品・サービスの開発に取り組んでいただきたいと考えています。



鎌上 徹 議員

①スポーツの振興について

問 「スポーツとフルーツ」伸びゆく町 なかやま」を町

のキャッチフレーズとしているが、他市町村と比較して特別なことをやっているか疑問に感じる。

当町には、体育協会、生活スポーツ推進委員、体育指導員、スポーツ少年団、中山総合スポーツクラブなど、スポーツに関係した団体や組織があるが、各団体の意思疎通は薄く、目的や問題点等が共有できていないのが現状である。

これからは、1本の柱の下で組

織を再編し、中山町のスポーツを育てていくべきだがどう考えるか。

答 現在、全体での目標や課題の共有とまでは至っていないのが現状ですが、平成26年の3月に開催された中山町スポーツ推進委員会主催の「中山町スポーツによるまちづくり研修会」では、町内の全てのスポーツ関係団体が参加し、意見や情報交換が行われました。

これからも、スポーツ関係団体が連携を図れるよう支援を行い、町の掲げる目標の共有を図りながら、スポーツのまちづくりを進めていきたいと考えています。

②スポーツ施設の利用について

問 町のスポーツ施設は、体育館等でのサッカーボールの使用禁止、すぱく中山での硬式テニスボールやバットの使用禁止など、制限が設けられているところがある。

第5次中山町総合計画の主要な施策には、「施設維持管理の徹底を図り、町民がより気軽に利用できる体育施設環境を整備する」とある。問題が生じると使用禁止に

第7回元祖芋煮会in中山イベント

『第2回芋煮会川柳コンテスト』

入選作品発表

9月に開催した「第7回元祖芋煮会in中山」の一環として、昨年から開催している「芋煮会川柳コンテスト」に、北海道から熊本まで215句の応募がありました。

元祖芋煮会in中山実行委員会で審査の結果、次の5句が入選、2句が準入選となりました。

ご応募ありがとうございました。

入選

鍋囲む 人の輪友の和 おいしいわ 森 わかな
山形の 元気もらいに 芋煮会 ひこうき雲
嫁ぐ友 子連れで帰省の 芋煮会 金砂郷の鴨子
味付けで 喧嘩し 食べて仲直り 木立慈雨
あれこれと 笑いのうちに 芋が煮え やじろべー

準入選

大鍋の ぬくみシエアする 芋煮会 せちい
芋煮会 舌をもてなす 味遺産 さくらんぼ